

かわいいあさひ

豊小・1 あいはら あきら

ぼくのいえには赤ちゃんがあります。名まえはあさひです。きよ年の十月二日のあさに生まれました。ぼくは、あさひがかわいいので、あさひのことをかくことにしました。

おかあさんのおなかに赤ちゃんがいるとわかったとき、ぼくは、おにいちゃんになるのがうれいとおもいました。ぼくは、やさしいことをするのがすきなので、かつこよくて、おせわをしつかりできて、赤ちゃんのことをちゃんとかんがえるおにいちゃんになりたいたとおもいました。でも、赤ちゃんがふえるとおせわがたいへんになるから、ちよつとしんばいでした。

おかあさんのおなかがだんだん大きくなつてくると、どんな赤ちゃんかな、目がくりくりかな、かみがいつぱいかな、どんな名まえにしようかなとおもいました。

十月二日のよ中に、おかあさんのおなかがいたくなつて、かぞくみんながおこされました。おとうさんが車をうんでんして、びょういんにいきました。いえにかえると、

「生まれたよ。」

つて、おかあさんからでんわがかかってきました。はじめて赤ちゃんを見たとき、かおがまるくてかみがばさばさでした。口がちっちゃくて、まだなにもしゃべれませんでした。なにもできない赤ちゃんを見て、かわいいとおもいました。

それからあさひは、どんどんかわいくなりました。ぼくが、いいないばあをしてあそんだり、まてまてとはいはいでおいかけたりとすると、はなにしわをつくつて、くしゃつとわらいます。あさひがわらうとぼくはうれしくなつて、もつとわらわせたくなります。ごはんをたべているときもわらいます。あさひは手でたべるから、かおにごはんつぶがついておちやめでかわいいです。ぼくもたべさせるのを手伝います。いつもこんなにこんなにたべられるのかなとおもうけど、ぜんぶたべるからすごいとおもいます。おかあさんが、

「あきらもきたなかつたよ。」

というけど、たぶんぼくのほうがきれいだったとおもいます。

でも、おこれるときもあります。ぼくがゲームをしていると、じやまをしてきます。コップの水をこぼしたり、本をやぶったりします。そのときはおこれるけど、かわいいからついゆるしてあげます。

あさひが大きくなつたら、おいかけっこをしたり、いっしょにはしつたりしたいです。ゆうえんちやどうぶつえんにもいっしょにいきます。